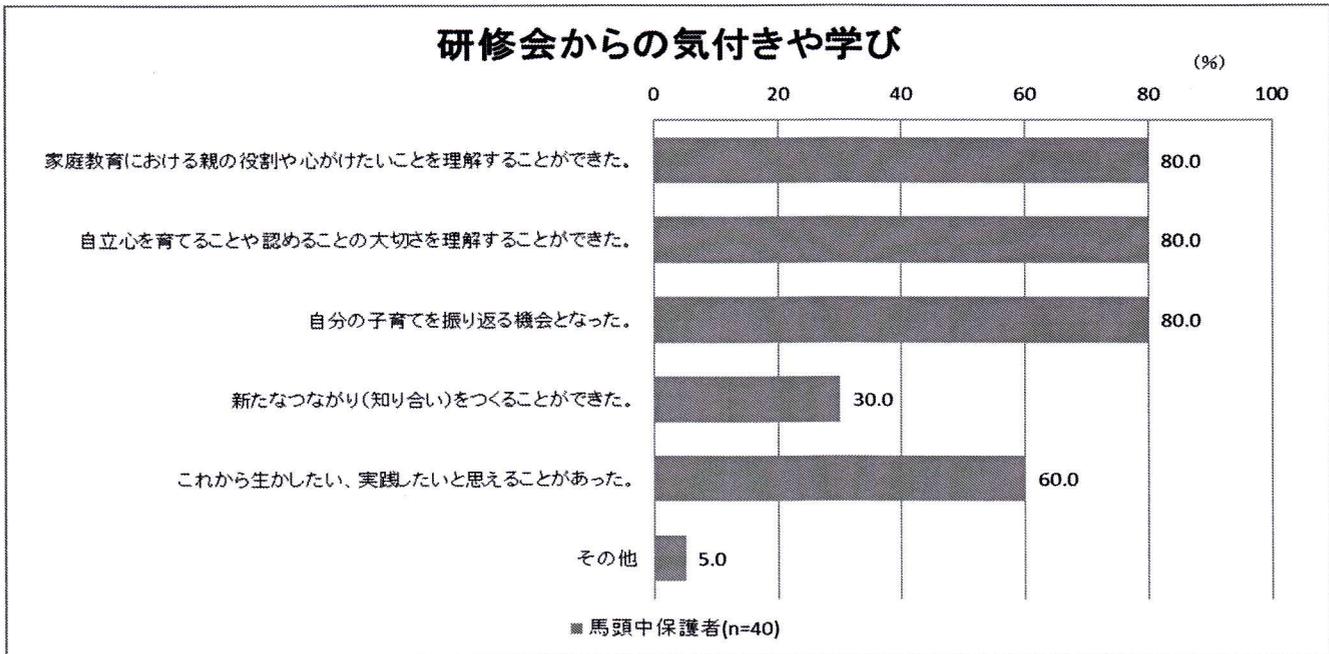


出前講座（家庭教育支援）【アンケート結果】

1. 実施日時 平成30年12月12日（水） 14:40～15:50
2. 実施場所 那珂川町立馬頭中学校 集会室
3. 実施対象者 保護者
4. 参加者数 40名
5. 内 容 講話「不登校を防ぐ子育て・親の役割」
ワークショップ「家庭で育てる自立心」

6. 結果の詳細

① 学習会からの気づきや学び（複数回答可）



② 本日の学習会への感想・御意見

【親の役割（認めることや自立心を育てることなど）について】

- ・家庭教育について、自分なりに分かっているつもりでも、心がけが足りてないことがある気がした。
- ・こどもに過度な期待をしていたと思いました。考え直し、これからの子育てに役立てたいです。
- ・安全基地という言葉は初めて聞きました。でも、すごく分かりやすい講話だったので、今日から実践してみようと思いました。
- ・家族が子どもの安全基地となり、子どもが困ったときや悩んでいるときなどに素直に相談できるような場所となってあげたいと思いました。また、結果にこだわらず過程を認めてあげられるようにしたいと思いました。
- ・家族の在り方で、子どもたちがどんな状況になってしまうのかということを改めて理解しました。
- ・親としての自分の行動をよく考え、反省し、これから子どもと接していきたいと思います。父親にもこの話について伝えます。
- ・わかっているがつい言うってしまうこと、やってしまうこと、親として気を付けるべきことを思い起こすことができました。子どもにとっていつも安全基地でありたいと思う。
- ・今まで自分が子どもにしてきたことは、自立を促すのではなく孤立させていたのだと気づきました。子どもにとっての安全基地となるよう、親として努力していきたいと思いました。子どもがいろいろ相談してくれる、そしてよきアドバイスができる、そんな親になりたいと思いました。
- ・反抗期で“ばばあ”と言われても、戻ってくる（安心する）場所が我が家でありたいと思った今日この頃でした。
- ・子どもを認めることが大切だと分かりました。
- ・中学生男子を育てるにあたり、どこまで手をさしのべるべきか、今ひとつ分からない日々。「自立は適度に依存すること」という言葉になるほどと思いました。すでに成長してしまった上の子どもたちに悪いことをしたと反省しつつ、たくましく育ててほしいと願うばかりです。
- ・娘の不登校が心配で参加しました。まだ不登校にはなっていませんが、学校に行きたくないというときがあり、悩んでいます。安全基地になっているから家に避難したいのか、安全基地になり得ていないのか考えてしまいました。

- ・悩みは同じということが分かりホッとしました。親としての自覚をもち、子どもに接していきたいと思いました。
- ・家庭円満なども子どもに影響することがよく分かりました。
- ・安全基地という言葉は初めて聞きました。我が家が安全基地になるよう日々努力したいです。
- ・学校で頑張っているからこそ家が安全基地にならなければならないな…を思いました。つい結果を見てしまうけど過程を応援したいです。そして、自立の手助けをしなければと思いました。
- ・子どもが自立するためには、家族で安全基地をつくるのが大切だと思いました。まだまだ分からない、悩む子育てが続く中、こんな講演会があり助かります。
- ・子どもを自立させるためには、まず母親自身の考え方をかえなきゃいけないのだと思いました。あまり口うるさく言わずに、子どもの意見も尊重したいです。
- ・子どもにとっていつでも安全基地でいようと思いました。子どもが幸せと思ってくれる時間をたくさんもちたいです。
- ・認める大切さを知りました。これからは褒める、認めるを実践していきたいと思えます。

【子育てや生活をふりかえる機会】

- ・生活を振り返ることができました。
- ・子育てについて改めていろいろと感じ、考えることができました。とても分かりやすい説明でした。楽しかったです。
- ・グループの中でたくさん話ができて、自身の子育てを振り返ることができました。
- ・楽しさの中で、自分の子どもへの対応…ふりかえりになりました。帰ったら、子どもの話を聞いてみようと思えます。
- ・講演会に参加して、いかに自分がだめな親であったか、子育てを振り返るよい機会となりました（愛情の押売）。
- ・改めて子どものことを考えることができた時間になりました。とても楽しく参加できました。
- ・今日のことを生かして、子どもとの関わり方をもう一度考えてみようと思えました。とても勉強になりました。
- ・親としての子どもとの関わり方をもう一度考え直すことができました。今日の講話を聞いてとてもよかったです。
- ・それぞれの子どもによって自立の方向が違っているので、不安や楽しみもそれぞれあります。しかし、最後は子育てを離れたときに、昔話で語れたらいいなと思えました。いつまでも「学び」ですね！
- ・気軽に話すことができる工夫がされていてよかったと思います。普段から心がけているつもりでもなかなかいい親ではないことも多く、改めて反省する機会になりました。
- ・話を聞いてグループで話し合うことで、自分の子育てを外側から客観的に見て考える機会になりました。
- ・子育てを見直すいい機会になりました。改めて、子どもを自立させる、自立心を育てるにはどうすればよいか考えることができました。
- ・分かりやすく、また、いろいろな方の意見を聞くことができてよかったです。自分自身の子どもとの接し方を考えるよい機会となりました。
- ・反省する点と目標とする点が明確に見えてきたので、講話が聞いてよかったです。子、親も目標が達成できるように頑張りたいと思います。
- ・日頃、思っても実践できていないことがたくさんありますが、本日の講演をきっかけの一つでもできればと思えました。「いけない親」、普段の子どもへの態度で自分に当てはまるものがたくさんありました。よい親になれるよう心がけたいです。

【学習の機会】

- ・楽しくみんなまで話合いができました。
- ・とても勉強になりました。今後生かしていきたいと思えます。
- ・先日、上手な怒りつつきあう方法を学んできました。中学PTAでも役に立つと思えます。
- ・周囲に不登校の生徒がいるため、今回の講演会楽しみにしていました。（そのお子さんとの関わる時間も、忙しい日々の中とることも難しい）。1年生のころは、電話したり夕方遊んだり、学校祭やお祭（行事）に誘ったり、時々会えましたが、今は全く会えません。お家の方もよい方で心配しています。このような場にそのお母さんも参加できるとよいと思えました。
- ・自分の子どもに対する接し方を反省し、子どもを認めながらよい方向へ自立させてあげるために必要なことを学ばせていただけるよい機会となりました。ありがとうございました。

【その他】

- ・意見を人前で発表しなくてはならないというのが嫌でPTA講演会に参加しない保護者もいるので、よい話を多くの保護者が聞けるよう、発表がない講演会にしてほしいと思えます。